

2020年9月16日 全7頁

Indicators Update

2020年8月貿易統計

経済活動再開が進み、輸出数量は全ての地域向けで回復

経済調査部 エコノミスト 鈴木 雄太郎

[要約]

- 8月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲14.8%とコンセンサス（同▲16.1%）を2ヶ月連続で上回った。季節調整値で見ると、前月比+5.9%と3ヶ月連続で増加し、プラス幅は2ヶ月連続で拡大している。欧米各国での経済活動の再開に伴い、輸出は5月を底に回復に転じている。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+11.2%と大幅に増加した。地域別に見ると、米国向け（同+4.0%）、EU向け（同+17.2%）、アジア向け（同+7.9%）はいずれも増加した。
- 輸出数量は9月以降も回復基調が継続するとみている。世界各国での経済活動の再開が進み、短期的には在庫減を補うためのペントアップディマンドにより高い伸び率が見込めるが、いずれ剥落し増加ペースは非常に緩やかなものとなろう。

図表1：貿易統計の概況

		2019年		2020年							
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
原系列 前年比 %	輸出金額	▲6.3	▲2.6	▲1.0	▲11.7	▲21.9	▲28.3	▲26.2	▲19.2	▲14.8	
	コンセンサス									▲16.1	
	DIRエコノミスト予想									▲17.0	
	輸入金額	▲4.8	▲3.6	▲13.9	▲5.0	▲7.1	▲26.1	▲14.4	▲22.3	▲20.8	
	輸出数量	▲1.9	▲1.6	▲2.4	▲11.2	▲21.3	▲27.3	▲26.9	▲21.9	▲14.9	
	価格	▲4.6	▲1.0	1.4	▲0.6	▲0.7	▲1.4	1.0	3.5	0.1	
	輸入数量	1.2	▲1.7	▲17.3	▲2.5	1.5	▲14.6	▲0.8	▲14.0	▲11.6	
価格	▲6.0	▲1.9	4.2	▲2.6	▲8.4	▲13.5	▲13.7	▲9.7	▲10.4		
	貿易収支(億円)	▲1,591	▲13,151	11,066	72	▲9,312	▲8,413	▲2,729	109	2,483	
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	▲0.2	▲3.3	3.4	▲4.3	▲11.4	▲5.5	1.5	5.6	5.9	
	数量	2.7	▲6.1	3.2	▲5.5	▲15.1	▲9.4	4.5	6.3	11.2	
	価格	▲2.9	2.9	0.1	1.2	4.3	4.3	▲2.8	▲0.7	▲4.7	
	輸入金額	▲1.1	▲2.0	▲7.3	6.3	0.9	▲11.1	▲1.6	▲2.6	0.1	
	数量	1.4	▲0.3	▲14.0	11.9	7.9	▲10.1	0.0	▲2.7	▲0.0	
	価格	▲2.4	▲1.7	7.7	▲5.0	▲6.5	▲1.1	▲1.6	0.1	0.1	
		貿易収支(億円)	▲1,552	▲2,304	4,207	▲2,039	▲9,246	▲5,350	▲3,733	413	3,506
	税関長公示レート	108.95	109.30	109.50	107.96	108.56	107.17	107.78	107.23	106.19	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

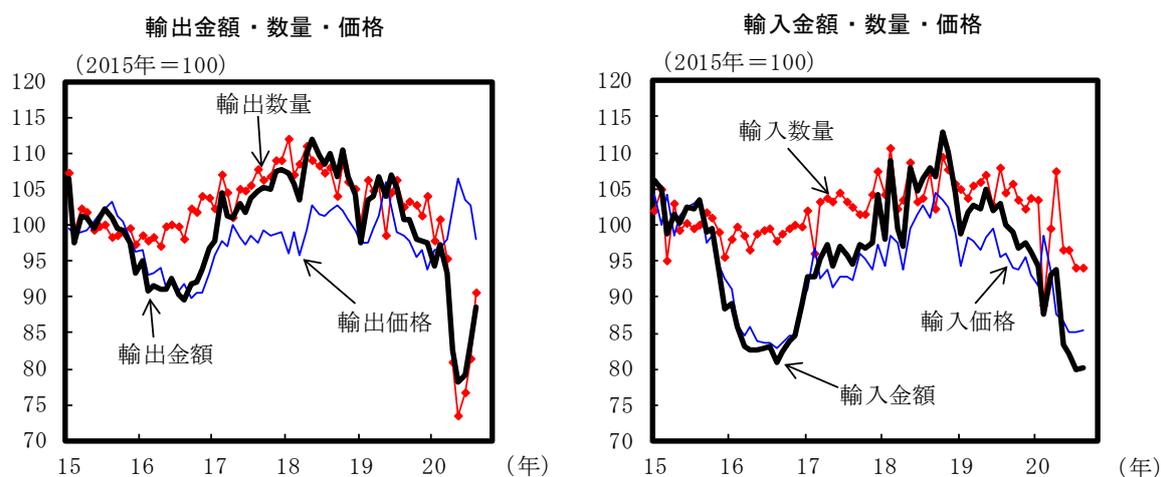
【貿易金額】前年比2桁減が続くも、マイナス幅は大幅に縮小

2020年8月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲14.8%とコンセンサス（Bloomberg 調査：同▲16.1%）を2ヶ月連続で上回った。前年比では2桁のマイナスが続いているものの、マイナス幅は6月以降縮小している。季節調整値では前月比+5.9%と3ヶ月連続で増加し、プラス幅は2ヶ月連続で拡大している。世界各国で経済活動の再開が進んだことで、輸出は5月を底に回復基調が継続している。

他方、輸入金額は前年比▲20.8%とマイナス幅は前月（同▲22.3%）から縮小した。季節調整値では前月比+0.1%とほぼ横ばいであった。輸出の回復とは対照的に、輸入はエネルギー関連を中心に緊急事態宣言の全面解除後も低迷している。

貿易収支は2,483億円と2ヶ月連続で黒字となった。4-6月期は大幅な貿易赤字であったが、7-9月期は黒字で着地する可能性が高まった。季節調整値でも3,506億円と2ヶ月連続で黒字となった。7-9月期のGDPの外需はプラス寄与となる公算が大きい。

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】各国の経済活動再開が進み、全ての地域向けが回復

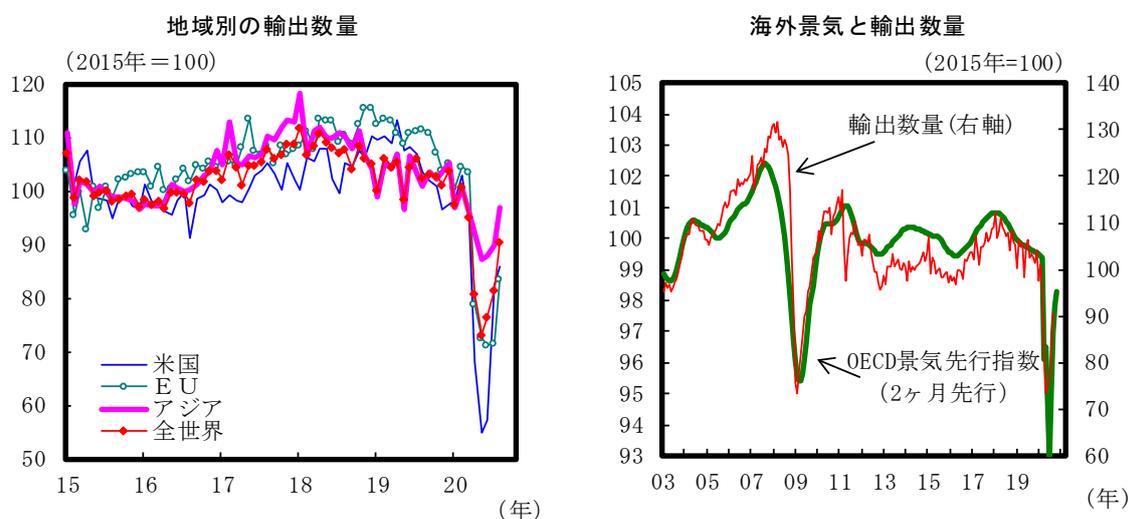
8月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+11.2%と大幅に増加した。地域別に見ると、米国向け（同+4.0%）、EU向け（同+17.2%）、アジア向け（同+7.9%）はいずれも増加した。

地域別・品目別に見ると、米国向けでは前月に大幅に増加した自動車が水準を維持したことに加え、自動車の部分品、ICなどが増加に寄与した。

EU向けでは、半導体等製造装置や自動車の部分品の大幅増が全体を下支えした。これまで、EU向け輸出は米国向けと比べて回復が遅れていたが、8月は大幅に増加した。もっとも、ロックダウン期間中に全体を大きく押し下げた自動車については、前月から増加したものの増勢は鈍い。

アジア向けは半導体等製造装置や電算機類の部分品、非鉄金属などが押し上げた。他方、中国向けでは、これまで全体を大きく押し上げていた自動車が減少に転じたものの、鉄鋼や非鉄金属、半導体等製造装置が下支えした。中国国内の生産回復を受け、足元では日本からの中間財輸出が全体を押し上げている。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】回復基調は継続するが、増加ペースは鈍化する見込み

輸出数量は8月以降も回復基調が継続するとみている。ただし回復ペースは徐々に鈍化するだろう。足元の急回復は、世界各国で経済活動の再開が進んだことが主因であり、その中には、ロックダウン解除後の需要急増による在庫減を補うためのペントアップデマンドが含まれている。こうした需要はいずれ剥落するため、その後は緩やかな増加にとどまる公算が大きい。

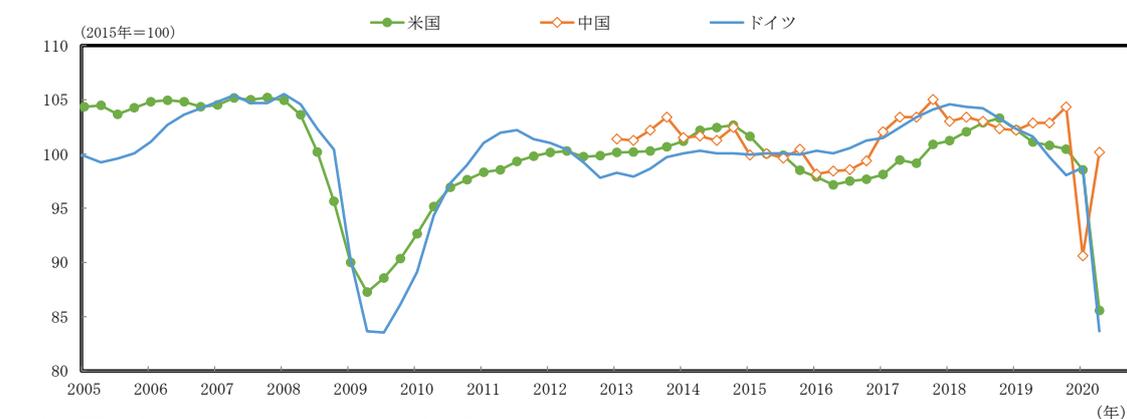
地域別に見ると、米国向けでは短期的には耐久消費財を中心に輸出の増加が回復基調を下支えするとみている。また足元では金利の低下を受け、住宅関連需要が急増しているため、全体に占めるウエイトは大きくないものの建設機械などの輸出増も期待できよう。

欧州向けも対ユーロでの円安も追い風となり、耐久消費財を中心に回復するだろう。フランスやドイツでは経済対策の一環として自動車購入奨励金が6月から7月にかけて引き上げられた。またドイツや英国では、時限措置として消費減税等が実施されている。こうした効果も相俟って、消費の回復が続くことが期待される。また、9月11日には日英包括的経済連携協定が大筋合意に達した。2021年1月1日の発効を目指しており、長期的には対英輸出にプラスとなるだろう。ただし発効直前期には輸出企業が輸出時期を適用後にずらす可能性があり、輸出が一時的に減少する動きには留意が必要だ。

他方、中国向け輸出は中間財を中心に堅調に推移するとみている。中国の鉱工業生産指数や固定資産投資などの前年比伸び率はV字回復し、その後も伸び率はプラスを維持している。今後も地方政府特別債券などを原資にインフラ投資が全体をけん引する公算が大きい。中国向け輸出は中間財（鉄鋼や非鉄金属など）の割合が高く、中国の生産や投資の回復による輸出増も見込まれよう。

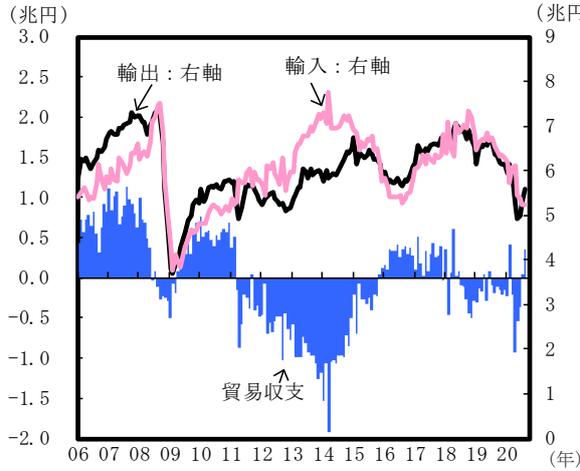
これに対し、欧米向け輸出は一般機械の割合が大きい。欧米各国の工場稼働率が低迷する中では（図表4）、一般機械などの資本財輸出は回復が相当に遅れるとみている。そのため輸出全体で見ても、コロナショック前の水準まで回復するのは当面難しいだろう。

図表4：主要国の設備稼働率



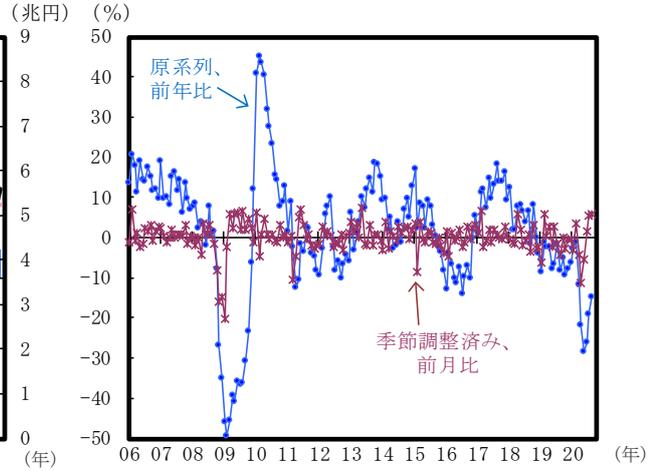
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

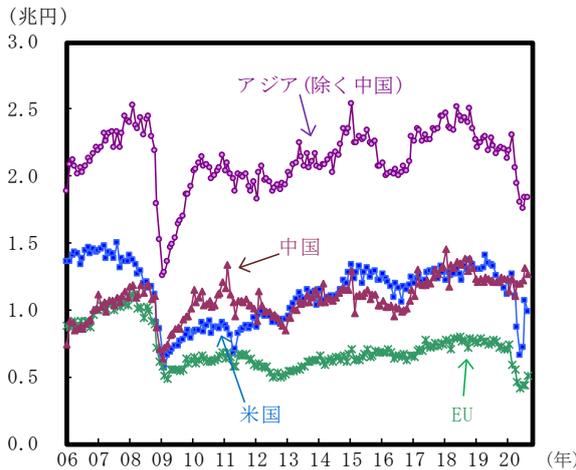


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

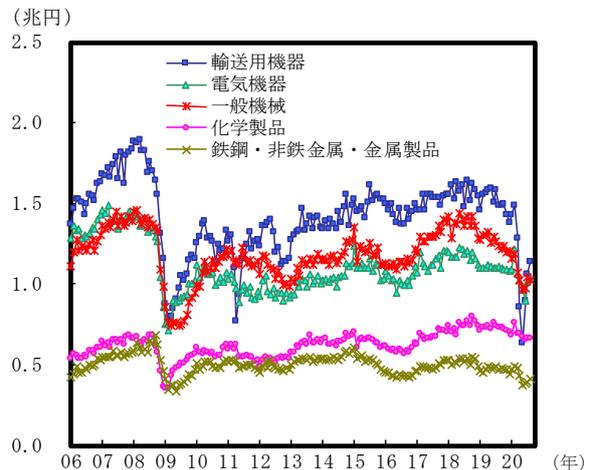


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

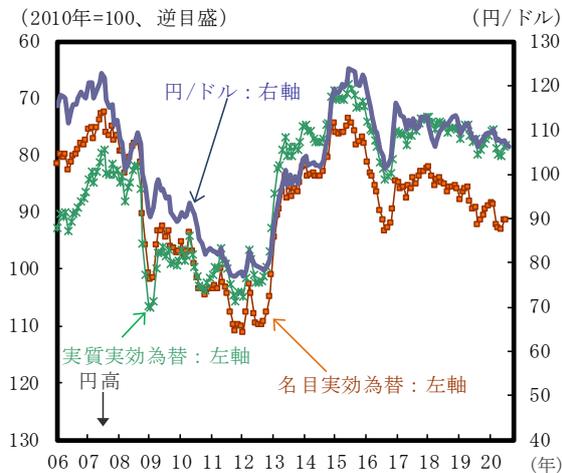


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

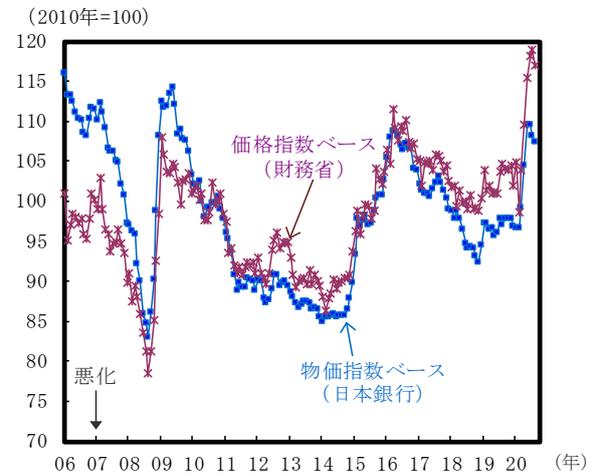


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲11.7	▲21.9	▲28.3	▲26.2	▲19.2	▲14.8	100.0	▲14.8
食料品	▲9.5	▲9.0	6.6	▲3.2	4.7	13.0	1.2	0.1
原料品	▲4.9	▲17.1	▲32.6	▲20.0	▲7.0	▲6.4	1.4	▲0.1
鉱物性燃料	▲5.5	▲40.0	▲72.6	▲53.4	▲70.4	▲68.8	0.7	▲1.3
化学製品	▲5.2	▲6.3	▲7.0	▲14.2	▲10.7	▲8.2	12.7	▲1.0
原料別製品	▲2.1	▲14.5	▲23.8	▲25.5	▲22.0	▲14.1	11.2	▲1.6
鉄鋼	7.3	▲9.9	▲27.6	▲26.6	▲32.0	▲27.4	3.6	▲1.2
非鉄金属	5.1	▲4.2	▲5.9	3.2	17.2	30.2	2.8	0.6
金属製品	▲13.2	▲22.2	▲26.8	▲35.4	▲28.1	▲21.7	1.5	▲0.4
一般機械	▲17.9	▲23.2	▲23.2	▲24.5	▲17.7	▲16.8	18.8	▲3.2
電気機器	▲3.5	▲8.8	▲13.7	▲18.5	▲7.8	▲5.5	20.1	▲1.0
半導体等電子部品	6.3	4.3	▲1.5	▲7.8	▲0.6	▲0.5	6.8	▲0.0
I C	6.0	4.3	▲6.4	▲8.3	▲2.5	▲2.9	4.8	▲0.1
映像機器	▲24.8	▲43.0	▲51.2	▲45.0	▲19.5			
映像記録・再生機器	▲27.8	▲43.1	▲49.0	▲45.5	▲20.2	▲29.0	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	0.1	▲31.2	▲21.0	▲60.3	▲49.8	▲8.9	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	▲8.7	▲8.7	▲17.9	▲22.0	▲15.4	▲13.6	2.6	▲0.3
輸送用機器	▲18.2	▲45.5	▲60.2	▲41.1	▲32.9	▲23.2	19.8	▲5.1
自動車	▲13.1	▲50.6	▲64.1	▲49.9	▲30.0	▲19.4	13.4	▲2.7
自動車の部分品	▲17.9	▲39.2	▲57.2	▲52.3	▲32.5	▲21.0	4.1	▲0.9
その他	▲15.0	▲12.7	▲14.4	▲22.6	▲11.4	▲11.7	14.0	▲1.6
科学光学機器	▲8.8	▲13.1	▲14.8	▲13.4	▲6.6	▲17.6	2.9	▲0.5

米国向け輸出金額 内訳								
	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲16.5	▲37.8	▲50.6	▲46.6	▲19.5	▲21.3	100.0	▲21.3
食料品	▲8.2	▲21.5	▲33.2	▲35.6	▲12.5	▲5.8	0.8	▲0.0
原料品	34.5	26.0	▲21.5	▲26.5	11.4	3.5	0.6	0.0
鉱物性燃料	▲44.9	▲55.0	▲70.0	▲28.3	▲58.8	▲89.7	0.2	▲1.4
化学製品	▲4.6	▲6.1	9.8	▲20.3	▲21.8	▲39.3	6.1	▲3.1
原料別製品	▲15.5	▲20.7	▲36.9	▲44.3	▲36.7	▲27.5	5.8	▲1.7
鉄鋼	▲31.6	▲28.5	▲22.4	▲51.8	▲38.2	▲44.4	0.9	▲0.6
非鉄金属	▲19.2	▲27.2	▲27.6	▲18.3	▲46.9	▲43.0	0.6	▲0.3
金属製品	▲2.5	▲21.9	▲45.9	▲53.8	▲33.5	▲17.7	1.6	▲0.3
一般機械	▲20.4	▲27.6	▲40.9	▲45.5	▲30.2	▲34.8	20.1	▲8.4
電気機器	▲2.1	▲22.1	▲42.2	▲37.7	▲16.5	▲12.5	15.1	▲1.7
半導体等電子部品	▲12.0	▲26.3	▲35.4	▲40.5	▲21.7	▲15.6	1.5	▲0.2
I C	▲13.9	▲31.0	▲48.3	▲45.9	▲25.6	▲20.2	0.7	▲0.1
映像機器	▲7.9	▲37.5	▲58.8	▲44.5	▲12.5			
映像記録・再生機器	▲6.0	▲40.2	▲57.9	▲49.8	▲23.4	▲33.8	0.6	▲0.2
音響・映像機器の部分品	11.2	▲35.3	▲63.2	▲90.5	▲83.9	▲46.7	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲11.3	▲20.0	▲41.2	▲37.4	▲20.6	▲18.6	1.5	▲0.3
輸送用機器	▲21.7	▲62.7	▲76.4	▲60.4	▲10.5	▲8.6	38.9	▲2.9
自動車	▲23.7	▲65.8	▲78.9	▲63.3	▲6.7	▲3.5	30.0	▲0.9
自動車の部分品	▲17.5	▲40.9	▲73.2	▲58.3	▲19.6	▲18.3	5.7	▲1.0
その他	▲16.0	▲20.3	▲40.3	▲35.0	▲16.9	▲17.5	12.3	▲2.1
科学光学機器	▲9.7	▲33.1	▲27.2	▲13.8	▲11.8	▲26.0	2.5	▲0.7

EU・英国向け輸出金額 内訳								
	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲26.5	▲39.4	▲43.8	▲41.4	▲44.0	▲32.8	100.0	▲32.8
食料品	▲16.4	▲39.8	▲38.8	▲42.8	▲25.2	▲8.4	0.6	▲0.0
原料品	▲16.4	▲26.3	▲67.7	▲45.0	▲39.9	▲39.9	1.0	▲0.4
鉱物性燃料	▲49.1	12.9	▲94.0	▲76.8	▲95.8	▲4.1	0.4	▲0.0
化学製品	▲11.9	▲6.5	▲0.7	▲16.4	▲10.3	▲14.7	12.5	▲1.4
原料別製品	▲21.6	▲31.1	▲36.4	▲39.0	▲35.5	▲35.5	6.1	▲2.3
鉄鋼	▲22.1	12.3	▲15.1	1.7	▲32.2	▲37.7	0.9	▲0.3
非鉄金属	▲7.4	▲28.9	▲23.9	▲37.8	▲25.2	▲45.4	0.7	▲0.4
金属製品	▲30.3	▲44.5	▲46.2	▲46.6	▲35.9	▲42.8	1.4	▲0.7
一般機械	▲32.1	▲38.2	▲47.7	▲43.4	▲43.1	▲34.2	20.7	▲7.2
電気機器	▲20.3	▲38.0	▲34.4	▲39.1	▲29.5	▲20.4	19.5	▲3.4
半導体等電子部品	▲18.9	▲29.4	▲30.5	▲25.9	▲25.4	▲15.5	2.5	▲0.3
I C	▲30.6	▲37.5	▲39.8	▲21.2	▲29.6	▲19.6	1.0	▲0.2
映像機器	▲29.7	▲62.7	▲68.1	▲57.4	▲31.0			
映像記録・再生機器	▲23.8	▲58.1	▲68.0	▲51.5	▲18.7	▲36.0	0.6	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲30.9	▲0.6	▲38.0	▲52.3	▲47.0	▲7.1	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲27.4	▲31.2	▲39.8	▲41.0	▲40.3	▲36.3	1.4	▲0.6
輸送用機器	▲24.1	▲59.0	▲63.9	▲51.2	▲58.6	▲36.6	24.9	▲9.7
自動車	▲32.5	▲63.4	▲58.7	▲47.7	▲59.9	▲41.3	15.4	▲7.3
自動車の部分品	▲8.1	▲53.3	▲77.0	▲71.7	▲52.1	▲17.8	7.3	▲1.1
その他	▲38.9	▲35.6	▲38.5	▲40.0	▲49.7	▲46.6	14.3	▲8.4
科学光学機器	▲23.0	▲35.3	▲25.2	▲22.5	▲25.7	▲22.2	3.7	▲0.7

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲9.4	▲11.3	▲12.0	▲15.3	▲8.2	▲7.8	100.0	▲7.8
食料品	▲11.6	▲2.6	18.8	8.8	14.8	17.1	1.6	0.2
原料品	▲11.3	▲20.8	▲27.9	▲17.1	▲3.8	▲3.2	2.0	▲0.1
鉱物性燃料	20.5	▲30.9	▲59.3	▲2.2	▲57.3	▲52.7	0.9	▲0.9
化学製品	▲6.0	▲9.2	▲12.1	▲16.3	▲10.3	▲5.3	16.1	▲0.8
原料別製品	▲1.8	▲12.2	▲20.2	▲22.0	▲16.8	▲10.7	13.6	▲1.5
鉄鋼	5.0	▲13.1	▲30.7	▲28.2	▲29.5	▲27.5	4.5	▲1.6
非鉄金属	7.5	1.6	▲3.5	3.8	19.4	33.8	4.1	1.0
金属製品	▲15.0	▲17.0	▲15.5	▲27.2	▲24.2	▲18.6	1.6	▲0.3
一般機械	▲17.2	▲18.6	▲7.2	▲10.4	▲5.7	▲6.0	19.4	▲1.1
電気機器	▲1.5	1.4	▲1.5	▲9.6	▲2.2	▲2.4	24.6	▲0.6
半導体等電子部品	9.0	8.3	2.0	▲4.6	1.7	0.9	10.7	0.1
I C	8.3	7.2	▲3.8	▲6.2	▲0.9	▲1.9	7.8	▲0.1
映像機器	▲42.9	▲40.0	▲33.2	▲43.1	▲21.6			
映像記録・再生機器	▲43.8	▲35.7	▲26.6	▲40.4	▲18.0	▲24.7	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	1.5	▲32.3	▲7.6	▲40.0	▲34.3	▲2.3	0.4	▲0.0
電気回路等の機器	▲6.2	▲3.8	▲9.6	▲15.7	▲9.7	▲10.1	3.5	▲0.4
輸送用機器	▲21.2	▲32.1	▲38.3	▲28.1	▲18.8	▲19.1	7.2	▲1.6
自動車	4.1	▲30.2	▲42.7	▲19.2	▲16.1	▲9.6	3.8	▲0.4
自動車の部分品	▲30.7	▲28.8	▲35.5	▲43.1	▲32.6	▲25.5	2.7	▲0.8
その他	▲13.3	▲4.6	▲2.8	▲16.0	▲1.3	▲9.6	14.6	▲1.4
科学光学機器	▲6.0	▲2.1	▲10.1	▲10.6	▲1.8	▲15.5	3.4	▲0.6

中国向け輸出金額 内訳								
	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.7	▲4.0	▲1.9	▲0.2	8.2	5.1	100.0	5.1
食料品	▲1.2	18.9	41.0	17.7	▲8.1	▲1.6	0.8	▲0.0
原料品	▲36.9	▲39.8	▲44.0	▲36.2	19.3	15.0	1.5	0.2
鉱物性燃料	▲32.8	▲24.4	▲30.4	72.0	▲57.7	▲58.4	0.7	▲1.0
化学製品	▲5.9	▲7.5	▲2.3	▲0.6	0.8	2.5	16.5	0.4
原料別製品	▲6.1	▲5.6	2.2	15.6	14.0	23.2	13.1	2.6
鉄鋼	2.0	▲9.2	▲12.5	16.4	9.9	18.3	3.8	0.6
非鉄金属	11.8	13.1	41.4	72.0	72.4	81.4	4.5	2.1
金属製品	▲18.6	▲12.6	1.1	▲7.4	▲9.4	▲1.5	1.7	▲0.0
一般機械	▲14.6	▲11.6	▲3.6	▲3.3	8.9	6.0	22.9	1.4
電気機器	▲1.5	10.3	8.5	▲0.8	12.2	5.6	21.7	1.2
半導体等電子部品	14.5	29.4	5.6	▲0.3	18.3	10.0	7.4	0.7
I C	17.4	40.2	4.1	▲1.1	22.7	9.0	5.3	0.5
映像機器	▲46.4	▲33.1	▲16.1	▲28.0	▲11.8			
映像記録・再生機器	▲48.8	▲21.6	▲1.2	▲13.1	▲1.5	▲28.0	0.4	▲0.2
音響・映像機器の部分品	4.2	▲21.2	19.2	▲37.0	▲41.1	20.9	0.6	0.1
電気回路等の機器	▲12.4	0.8	3.1	▲0.0	5.1	▲3.2	3.4	▲0.1
輸送用機器	▲9.8	▲13.7	▲16.4	7.1	17.9	18.7	9.7	1.6
自動車	19.2	▲10.0	▲20.8	18.8	19.0	29.0	5.3	1.3
自動車の部分品	▲37.6	▲18.5	▲11.2	▲7.1	16.2	7.8	4.2	0.3
その他	▲6.8	7.5	0.5	▲10.8	4.8	▲8.7	13.1	▲1.3
科学光学機器	▲3.1	3.9	▲8.8	▲17.4	▲0.9	▲17.5	4.5	▲1.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成